

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年9月21日～2017年9月27日)

平成 29 年(2017 年)9 月 29 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治 ドゥダ大統領による司法制度改正法の修正案の発表 ポーランドの法の支配に関するティーマーマンス欧州委副委員長の発言 国防予算案, 上院国防委員会にて承認 ドゥダ大統領, 米陸軍士官学校で講演 マチェレヴィチ国防大臣, 訪米 マチェレヴィチ国防大臣, ザーパド演習について発言 米国欧州陸軍, 米ミサイル砲兵旅団のポーランド展開を否定 ウクライナ政府高官, 露ザーパド演習において核打撃訓練を実施と発表 オルバーン・ハンガリー首相の当地訪問 ポーランド英首相電話会談 マチェレヴィチ国防大臣, パトリオットミサイルの早期導入は可能と発言 第二次大戦時の賠償請求権に関する政府見解の作成見込み</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先 大使館領事部 電話 22 66 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍, 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等 国境警備隊, トルコ人不法移民を拘束 国家警察, 性犯罪に関する地図型統計資料の公開を発表 トルン近郊で不審者が警察官に発砲 デジタク外務次官, ポーランドはイスラム教徒の移民を受け入れないと改めて発言</p>								
<p>経済 モラヴィエツキ副首相, 政府の大胆な経済・財政政策を語る 中央空港建設, 2027年中旬の操業開始を見込む 酒類販売に関する規制強化の検討 2018年予算案 閣僚評議会常設委員会にてビジネス規約を今週中にも承認 8月の失業率 8月の貨物輸送量, 増加 2017年の農林水産物・食品輸出額, 250億ユーロを超える見通し 国営ポーランド郵便, 中国と郵便協力を調印 チフジェフスキ・エネルギー大臣, 原発建設地の住民との協議中と発言 国営ポーランド郵便, 中国と郵便協力を調印 チフジェフスキ・エネルギー大臣, 原発建設地の住民との協議中と発言 エネルギーフォーラム, 4つのエネルギー改革シナリオを公表</p>								
<p>大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起 第48回衆議院選挙に関するお知らせ 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

内 政

ドゥダ大統領による司法制度改正法の修正案の発表【25日】

25日、ドゥダ大統領は、本年7月に署名を拒否した国会の全国裁判所評議会(KRS)改正法及び最高裁判所改正法につき、自ら作成した修正案を発表し、26日、同法案は下院に送付された。本修正案は署名を拒否した原法案と比べ、法務大臣の権限を縮小し、現在の最高裁判所裁判官の即時退官を可能にする規定と、退官年齢の性別による区別(男65, 女60)をなくす等の修正が見られ、他方、KRSにおける裁判官の評議員を下院で選出する方法は維持された。また、最高裁判所への新たな部署の新設や

特別抗告制度が盛り込まれた。

ポーランドの法の支配に関するティーマンズ欧州委副委員長の発言【25日】

25日、EU総務理事会が開催され、ポーランドの法の支配について議論が行われた。ティーマンズ欧州委副委員長は、同理事会後の記者会見で、ドゥダ大統領による司法制度改革関連法の修正案を歓迎し、同修正案を精査するとともに、ポーランド政府に対し、同修正案を欧州評議会ベニス委員会に送付するよう要請する旨述べた。

外交・安全保障

国防予算案、上院国防委員会にて承認【21日】

21日、上院国防委員会において、2030年まで国防費を対GDP比2.5%にする国防予算案が全会一致で承認された。関連して、コブナツキ国防副大臣は、軍の装備は可能な限り国産を追求する旨述べた。

ドゥダ大統領、米陸軍士官学校で講演【21日】

21日、ドゥダ大統領は、米陸軍士官学校で講演し、ポーランド・米国の関係史、ポーランドと米国の世界平和への共同取組、米国が世界のリーダーであり続ける意義について述べるとともに、ロシア軍の各国への展開により平和ではなく、世界各国の政治腐敗を招いているとロシアの政策を批判した。

マチェレヴィチ国防大臣、訪米【21日】

21日、マチェレヴィチ国防大臣は、米国防総省を訪問し、マティス国防長官と会談を行い、二国間協力関係の発展、米軍の東方境界へのプレゼンス、米軍等の配置転換、ポーランド軍によるNATO任務への貢献等について意見交換を行った。また、米軍とポーランド軍は、共同作戦能力向上のための作業部会の設置に合意した。

マチェレヴィチ国防大臣、ザーパド演習について発言【21日】

21日、マチェレヴィチ国防大臣は、米国訪問の際、シンクタンク(CEPA)の講演において、ザーパド演習に関し、単なる通常の演習ではなく、その目的の一つは、NATO前方地域強化大隊の撃破であり。参加者が1.3万人というのは、全くの偽情報で、実際には、10倍か、それ以上だろうと述べ、ロシアは、西側正面に対する、核兵器の使用を含む侵略戦争の

準備を行っており、実際、20日、ロシアはICBMの試験を実施し、1週間以内に2回目も行うだろうと付言した。

更に、同大臣は、ザーパド演習により、ロシアは、大部隊を迅速に動員できることを証明し、NATOのVJTF(高度即応統合任務部隊)、前方地域強化大隊もこれには対応できず、米軍の欧州展開には、数か月かかり、その間に領土を失ってしまう。だからこそ、米国の欧州への関与、米軍の欧州への展開を求めており、またポーランド政府としても、国防戦略を策定し、少なくとも数か月、国を防衛できる軍隊を創設することを決心した旨言及した。

米国欧州陸軍、米ミサイル砲兵旅団のポーランド展開を否定【21日】

21日、米国欧州陸軍ミラー少佐は、M270多連装ロケット等を保有するミサイル砲兵旅団の欧州展開に関し、NATO・ロシア間の常設部隊の駐留を禁止するCFE適合条約の規程に違反しないようにポーランドには展開しないと発言した。

ウクライナ政府高官、露ザーパド演習において核打撃訓練を実施と発表【21日】

21日、トルチノフ・ウクライナ国家安全保障長官は、ロシアがザーパド演習において、陸上兵器、潜水艦及び爆撃機からの核打撃訓練を行った。同訓練は、バレンツ海及びラプテフ海にて実施され、原子力弾道ミサイル潜水艦ドミトール・ドンスコイ、北方艦隊の艦船、バステオン地対艦ミサイル等が参加したと発表した。

オルバーン・ハンガリー首相の当地訪問【22日】

22日、オルバーン・ハンガリー首相はポーランドを

訪問し、ドゥダ大統領と会談を行い、V4協力及びEUの将来について意見交換した。同日、シドゥウオ首相とも面会し、EU情勢及び移民政策について意見交換した。カチンスキ与党「法と正義」党首及びクフチンスキ下院議長とも会談を行い、EU内協力及び二国間関係につき議論し、中欧地域がEU基本条約を守護する役割を果たしているとの認識で一致し、安全保障、移民危機に関する立場及び人口動態について意見交換した他、カルチェフスキ上院議長との会談では、政治的な問題の解決方法について意見交換した。

ポーランド英首相電話会談【22日】

22日、シドゥウオ首相は、メイ英首相がイタリアのプロレンスにおいてBREXIT交渉の進め方及び離脱後の英国とEUとの関係について発表後、メイ首相の要望に応じ電話会談を行った。シドゥウオ首相は、メイ首相に対し、ポーランド政府は、交渉の初期段階において、在英ポーランド人の権利について適切な保証がとりまとめられること及び英国が離脱するまでは現状とおりにEUの予算に貢献することを期待する旨述べた。

マチェレヴィチ国防大臣、パトリオットミサイルの早期導入は可能と発言【25日】

25日、マチェレヴィチ国防大臣は、防空システムのパトリオットミサイルの導入は、米国の高官より技術移転の了解を得ており、2022年ではなく、2020年にも可能性がある。多連装長射程ミサイル(HIMARS、ポーランド名HOMAR)も年末まで合意でき、2019年には配備開始できる見通しであると述べた。また、アパッチ攻撃ヘリは、装備近代化計画の有力な候補であると付言した。

第二次大戦時の賠償請求権に関する政府見解の作成見込み【26日】

26日、シドゥウオ首相は、閣議後の記者会見において、ポーランド政府が戦後賠償の問題に取り組むことを決定し、事実に基いた意見交換を可能とするため、政府も賠償問題に関する見解を近いうちに作成する方針である旨発表した。その前日の25日、カチンスキ与党「法と正義」(PiS)党首は、記者に対し、本件をドイツが認識することは有意義であり、第二次大戦時に起きたことを取り上げる機会が得られる点でも有益であるとして、賠償請求権を追及する重要性を強調する意見を述べた。

治 安 等

国境警備隊、トルコ人不法移民を拘束【24日】

24日、国境警備隊は、キエフとプシェムィシルを結ぶ鉄道を利用してポーランドへの不法入国を試みたとして、トルコ人一家を拘束した。容疑者は偽造フランス旅券を所持しており、同旅券を利用してEU域内に不法越境することを計画していた。容疑者は、偽装旅券をトルコ国内の偽造業者から約1万ユーロで購入したとされ、既にウクライナに送還されている。

国家警察、性犯罪に関する地図型統計資料の公開を発表【25日】

25日、国家警察本部は、本年10月1日から、公式ウェブサイト上で性犯罪に関する地図型統計資料を公開すると発表した。同資料は、地図上に地域ごとの性犯罪発生件数が集約して表示し、特に注意を要する地域を明示するほか、ポーランド法務省の保有する性犯罪前科者情報も組み込まれ、地域のごとの性犯罪者前科者居住数も確認可能となる。

トルン近郊で不審者が警察官に発砲【26日】

26日、トルン近郊の都市イノヴロツワフの広場で警察官が不審な男を制止したところ、同不審者は突如、警察官に向けて発砲した。同銃撃で警察官2名が負傷したのも、警察側も応射し、同不審者を拘束した。民間人の負傷者はなかった。同不審者は本年2月にワルシャワ市モコトフ地区で発生した銃撃事件の容疑者として指名手配されていた。

ディクタク外務次官、ポーランドはイスラム教徒の移民を受け入れないと改めて発言【27日】

27日、ディクタク外務次官は、民放に対し、2015年に前政権(「市民プラットフォーム」(PO)政権)は、ギリシア、イタリア等に滞留する6,000人以上の移民を引き受ける旨表明したが、ポーランドはイスラム教徒の移民を受け入れない。「法と正義」(PiS)政権は、選挙で選ばれた政権で、民意に従った施策を遂行すると述べた。

経 済

経済政策

モラヴィエツキ副首相、政府の大胆な経済・財政政策を語る【22日】

モラヴィエツキ副首相は、社会保障支出が201

5年の190億ズロチ(44億ユーロ)から2017年には710億ズロチ(166億ユーロ)に増加し、保健医療支出が7%上昇したことに言及し、税制改革及

び積極的な徴税強化により、これらの寛大な政策が可能となったと説明した。今年の財政収支は約500億ズロチの赤字となる見通しで、これは政府による積極的な投資と支出に起因するもので、しかるべく制御された数字であるとの見解を示した。

中央空港建設、2027年中旬の操業開始を見込む【22日～25日】

ヴィルド事業担当政府委員によれば、中央空港（通称「連帯」空港）の操業開始は2027年中旬を見込んでおり、敷地面積は3,000ヘクタール規模となる。同空港建設費は310～350億ズロチ（72～82億ユーロ）と見積もられ、空港本体の建設に200億ズロチ、鉄道ハブ建設に80～90億ズロチ、道路建設はその総延長次第であるが20～70億ズロチを要する見通しである。新空港の建設により、ワルシャワ・ショパン空港を含む複数の既存空港の閉鎖が見込まれている。

酒類販売に関する規制強化の検討【25日】

政府は酒類販売に関する規制強化を検討している。規制内容として、酒類を販売する24時間営業の店舗数を決定する権利を自治体に与えること

や公共の場での飲酒禁止、酒類の広告禁止を20時から23時まで3時間延長すること等が検討されていると見られる。

2018年予算案【26日】

25日、政府は2018年概算予算案を承認した。予算規模は歳入3,557億ズロチ、歳出3,972億ズロチで、対GDP比2.7%となる415億ズロチの財政赤字が見込まれている。前提となる経済見通しは、GDP成長率3.8%、物価上昇率2.3%、平均賃金上昇率6.3%を想定している。

閣僚評議会常設委員会にてビジネス規約を今週中にも承認【27日】

コヴァルチク閣僚評議会常設委員長は、ビジネス規約（Constitution for Business）が今週末曜日に同委員会で承認予定であると述べた。同法案はモラヴィエツキ副首相が昨秋に提案したもので、企業活動を促進するとともに企業と行政の関係改善を図るべく、5つの関連法で構成される。常設委員会での承認後、法案は閣僚会合の承認手続きに付される予定。

マクロ経済動向・統計

8月の失業率【22日】

中央統計局（GUS）によれば、8月の失業率は1991年2月以来最低の7.0%となり、前年同月比1.4%減となった。

8月の貨物輸送量、増加【22日】

中央統計局（GUS）によれば、8月の貨物輸送は前年同月比8.7%増の4,830万トンとなった。鉄道貨物輸送は2,100万トン（前年同月比9.3%増）、道路貨物輸送は2,150万トン（同13%増）、石油及び石油製品のパイプライン輸送は490万トン（同7.4%減）。国内港での貨物取扱量は640万トン（前年同月比8.5%増）となった。

2017年の農林水産物・食品輸出額、250億ユーロを超える見通し【26日】

ユルギエル農業・農村発展大臣は、2017年の農林水産物・食品輸出額は250億ユーロに上る見通しであると語った（2016年は240億ユーロ）。今年1～7月までの輸出額は、昨年同期の実績を越す100億ユーロに上っている。輸出先国はドイツ、英国、チェコ、オランダ等EU諸国が81.5%を占めており、日本、オーストラリア、ナイジェリア等も主要なパートナー国となっている。主な輸出品は家きん肉、牛肉、豚肉、小麦、魚の薫製、チーズ、凝乳、冷凍果物、フルーツジュースなどで、ユルギエル大臣は、ポーランド産農林水産物・食品の安全性を強調した。

ポーランド産業動向

国営ポーランド郵便、中国と郵便協力を調印【25日】

国営郵便ポチタ・ポルスカは、中国郵政グループと郵便に関する予備的協定に調印した。これに

より、2021年までに15億ズロチの海外売上高を見込まれる。ポーランド郵便は、中国から欧州30か国に対して鉄道で輸送される郵便を委託配送する。

エネルギー・環境

トフジェフスキ・エネルギー大臣、原発建設地の住

民との協議中と発言【22日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、原子力発電所の建設に関して、2つの候補予定地の地域住民と協議中であると述べた。建設には地域住民の同意が必要であり、地域住民に対して政府への協力・状況理解に関して謝意を述べた。海に隣接した地域は、冷却水の確保に最適である。原発建設により国内での停電を恐れる必要はなくなる。最初の入札は2018年1月に開始されると述べた。

エネルギーフォーラム、4つのエネルギー改革シナリオを公表【22日】

シンクタンク・エネルギーフォーラムは、2

050年までのエネルギー関連分野の費用を5,290億～5,560億ユーロと試算した。同フォーラムは、石炭、原子力、多様化（原子力を除く）、再生可能エネルギーの4つについて経済面、社会面、環境面での影響について分析している。エネルギー需要については、年1.4%成長で2050年に220TWhを見込んでおり、ピーク時の電力需要を25GWから40GWに設定すると、2030年以降、石炭ベースの電力供給が環境コストも考慮すると最も費用が高いと試算された。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起

パスポートの入ったバッグは身体から離さない、目を離さない、バスや地下鉄の車内ではリュック等は身体の前で抱える、といった注意を心がけてください。

万が一パスポートの紛失・盗難に遭った場合は、直ちに現地の警察に赴き、紛失届あるいは被害届を提出するとともに、いずれかの写し又は紛失・被害証明を入手し、日本国大使館又は総領事館の領事窓口まで御連絡ください。多くの国や地域では、外国人はパスポートを常時携行することが法律で義務付けられています。違反すると罰金等を科されることもありますので注意してください。

第48回衆議院選挙に関するお知らせ

第48回衆議院総選挙の在外投票が以下のとおり行われる予定です。

告示日	平成29年10月10日(火曜日)(予定)
在外公館投票日	平成29年10月11日～14日(水曜日～土曜日)(予定)
日本国内の投票日	平成29年10月22日(日曜日)(予定)

在留邦人の方は、「在外公館投票」「郵便等投票」「日本国内における投票」のうちのいずれかを選択して投票することができます。在外選挙人証は申請に基づいて交付されます。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ov/page3_001607.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、本年に入ってからテロ事件が相次いで発生しており、特にイスラム教のラマダン期間(5月下旬～6月下旬)頃にはテロ事件が続発しました。ラマダン期間は終わりましたが、8月17日(現地時間)にはスペ

イン・バルセロナ中心部の観光地で多くの人が犠牲となる車両突入テロ事件が発生しており、引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【予定】第3回日本ポーランド冷兵器の日【9月30日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド軍事博物館主催による『第3回日本ポーランド冷兵器の日』が開催されます。武道デモンストレーション(新陰流、相撲、剣道、試し切り)、冷兵器の展示会、歴史再現グループのデモンストレーションや様々なワークショップ・コンクール等が予定されています。

開催場所: ワルシャワ、ポーランド軍事博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細: <http://www.muzeumwp.pl/>

【予定】 国際極真空手選手権大会 ポドラシェ県知事杯 【9月30日(土)】

ビャウイストック市にて、ビャウイストック空手極真クラブ「カンク」主催による『国際極真空手選手権大会 ポドラシェ県知事杯』が開催されます。

開催場所:ポドラシェ県, ビャウイストック市, ul. Ks. Suchowolca 26

詳細:<http://kyokushin.bialystok.pl/>

【予定】 そろばんレクチャー・デモンストレーション 【10月3日(火) 17時半～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、石戸謙一全国珠算連盟理事長によるそろばんレクチャー・デモンストレーションが開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール:info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所:Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】 国交回復 60 周年記念日本・ポーランド交流史パネル展【10月5日(木)～20日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、戦後の日本とポーランドにおける外交・文化・経済関係の歩みを紹介する写真パネル展を開催予定です。入場無料。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール:info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所:Al. Ujazdowskie 51, Warszawa) (* 平日の開館時間内)

【予定】 第12回日本文化デー 【10月6日(金)～7日(土)】

ノヴァ・ルダ市にて、ノヴァ・ルダ市文化センター主催による『第12回日本文化デー』が開催されます。様々な展示会(着物, 扇子), 京都の写真展, ワークショップ(着付け, 折り紙, 書道)や日本映画の上映会などが予定されています。

開催場所:ドルヌィ・シロンスク県, ノヴァ・ルダ市, ul. Strzelecka 2A

詳細:<http://www.mok.nowaruda.pl/>

【予定】 第14回国際バイオフィリアリハビリテーション学会 【10月6日(金)～7日(土)】

ウストロン市にて、特定非営利活動法人高齢市民が活躍するための社会技術研究会主催による『第14回国際バイオフィリアリハビリテーション学会』が開催されます。

開催場所:シロンスク県, ウストロン市, ul. Sanatoryjna 1

詳細:<http://ibrc2017.pl/>

【予定】 弓道大会 ポズナン2017 【10月7日(土)～8日(日)】

ポズナン市にて、日本伝統武道センター協会「テングカイ」主催による『弓道大会 ポズナン2017』が開催されます。

開催場所:ヴェエルコポルスカ県, ポズナン市, ul. Garbary 24

詳細:<http://tengukai.pl/>

【予定】 柔道家橋本壮市による柔道セミナー 【10月7日(土)～8日(日)】

ワルシャワ市にて、柔道クラブ レギア・ワルシャワ主催による『柔道家橋本壮市による柔道セミナー』が開催されます。

開催場所:ワルシャワ市, ul. Lokajskiego 3

詳細:<https://judo.legia.com/seminarium-mistrzem-swiata-soichi-hashimoto/>

【予定】 第31回欧州極真空手選手権 【10月13日(金)～14日(土)】

シフィノウイシチェ市にて、シフィノウイシチェ市極真空手アカデミー主催による『第31回欧州極真空手選手権』が開催されます。

開催場所:西ポモージェ県, シフィノウイシチェ市, Radisson Blu Resort, ul. Aleja Baltic Park Molo 2

詳細:<http://akademiakyokushin.com/>

【予定】 欧州極真空手選手権大会 【10月14日(土)～15日(日)】

ジェシュフ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)による欧州極真空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: ジェシュフ市, ul. Miłocińska 42

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】第11回ワルシャワ大学日本祭【10月16日(月)～18日(水)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本文学学科主催による『第11回ワルシャワ大学日本祭』が開催されます。日本に関する講演会及び学術発表が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, 316教室, ul. Dobra 56/66

詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

【予定】国際会議「ポップリアリティー：日本人の目を通して見た日本，世界の目を通して見た日本」【10月16日(月)～17日(火)】

クラクフ市にて、ヤギェロン大学中東極東研究所日本語日本文化政治部主催による国際会議『ポップリアリティー：日本人の目を通して見た日本，世界の目を通して見た日本』が開催されます。様々な講演が予定されています。

開催場所: クラクフ市, ヤギェロン大学図書館, ul. Mickiewicza 22

詳細:

<http://unikonferencje.pl/konferencja/7971-pop-reality-japan-through-the-eyes-of-japanese-japan-through-the-eyes-of-the-world>

【予定】欧州相撲選手権大会(ユース: U14～U18)【10月20日(金)～22日(日)】

ワルシャワ市にて、ポーランド相撲連盟主催による『欧州相撲選手権大会 (ユース: U14～U18)』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ市, ul. Poezji 5

詳細: <http://www.sumo.org.pl>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ Eメールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)